

アジレント・テクノロジー株式会社 TEL : 042-660-8426
コーポレート・リレーション部 FAX : 042-660-8438
<http://www.agilent.co.jp/>

〒192-8510
東京都八王子市高倉町 9-1



Agilent Technologies

Press Information

<お知らせ>

2010年7月26日

PRCORP10-14

アジレント・テクノロジー、東京工業大学 大学院 修士課程向けに マイクロ波技術に関する寄附講義「高周波計測工学特別講座」を実施

アジレント・テクノロジー株式会社（社長：梅島 正明、本社：東京都八王子市高倉町9番1号）は、2010年8月2日（月）から6日（金）までの5日間、国立大学法人 東京工業大学 大学院 修士課程向けに、マイクロ波技術に関する寄附講義「高周波計測工学特別講座」を実施することをお知らせします。

この寄附講義は当社が産学連携の一環として 2005 年から毎年実施しており、今年で 6 年目となります。東京工業大学と単位互換協定を結んでいる東京大学などの学生も参加しています。本年も約 40 人の学生が受講する予定です。この講義では、東京工業大学の教員に加えて、当社の現役エンジニアが講師として指導にあたります。ワイヤレス通信の基礎からはじめて、Sパラメータ、スミスチャートの読み方、変調信号、位相雑音など、マイクロ波に欠かせない基本知識を講義すると同時に、ストリップラインアッテネータや高周波アンプを実際に作成する実習も行います。学生 5 人につき 1 式のマイクロ波測定器（信号発生器、スペクトラム・アナライザ、ネットワーク・アナライザ）を用意、作成した部品の測定や評価も行います。

アナログ技術は、携帯電話、無線 LAN、高速道路の料金自動收受システム (ETC) など、日常生活においても幅広く使われています。これらの機器を開発するメーカーや高周波化合物半導体メーカーではアナログ技術者不足が問題となっているにもかかわらず、大学でもアナログ技術を指導できる環境が不足しているという点が問題となっています。そこで、この寄附講義には東京工業大学からの要請を受けた当社がマイクロ波のノウハウを持つ現役エンジニアを講師として派遣し、趣旨に賛同するオリックス・レンテック株式会社が当社製のマイクロ波測定器を特別価格でレンタル提供します。三者の協力により、将来の日本のアナログ技術者の育成を図っていきます。

当社では修士課程向けの寄附講義のほか、これまで、学部への製品寄贈も行ってきました。電気電子工学科の学生実験の環境の改善を目的として2007年に、オシロスコープ4台、ファンクション・ジェネレータ13台、LCRメータ2台、総額500万円相当の測定器を寄贈しています。

#

このお知らせに関する報道関係各位からのお問い合わせ先：

広報担当 関

電話：042-660-8426

アジレント・テクノロジーについて

アジレント・テクノロジー (NYSE:A) は、化学分析、ライフサイエンス、エレクトロニクス、コミュニケーション市場における世界のプレミア・メジャメント・カンパニーであり、またテクノロジー・リーダーでもあります。19,000名の従業員を擁し、110カ国以上でビジネスを展開しています。アジレントは、2009年度、45億ドルの売上高を達成しました。アジレント・テクノロジーの情報は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.agilent.co.jp>

※このプレスリリース中の「アジレント・テクノロジー」、「アジレント」、「当社」は、文脈により、「アジレント・テクノロジーズ・インク」、その日本人や各国の法人、グループ全体を指すことがあります。